

● 令和3年度に実施した主な業務 (抜粋) ●

- ▶ 高度情報基盤の運営、庁舎内情報機器維持業務・・・2億9,549万円
- ▶ 介護保険費 (繰出金・補助金等)・・・2億429万円
- ▶ 障がい者福祉事業・・・1億9,147万円
- ▶ ごみ処理事業・・・1億6,123万円
- ▶ 母子保健・予防・各種健康診断業務・・・8,271万円
- ▶ 若者交流センター等の運営費・・・1億5,157万円

※詳細は、町ホームページで公開します。右のQRコードにアクセスしてご確認ください。



詳しくは、
ホームページへ



これが令和3年度の

川根本町の決算です!

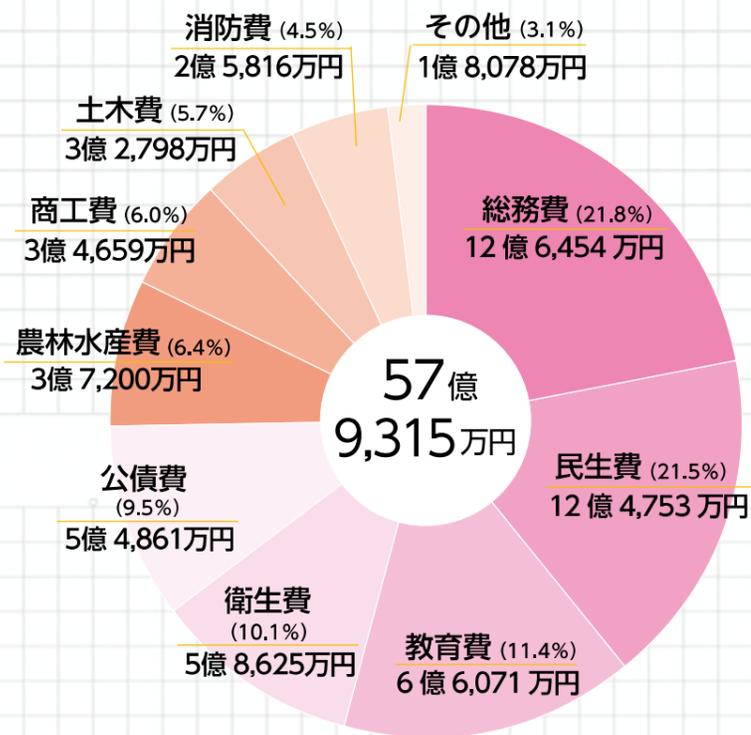
令和3年度の決算が9月定例議会で認定されました。一般会計と6つの特別会計の1年間の決算額は、歳入総額が92億3,561万円、歳出総額が83億9千7,031万円となりました。

皆さんの大切な税金をもとに運営されている町政です。昨年度はどれくらいの収入があり、どのような目的で使用されたのか、決算の概要と財政状況をお知らせします。

一般会計 歳出

衛生費が増加
前年度から約 **7.9** 千万円増

総務費が減少
前年度から約 **3.9** 億円減



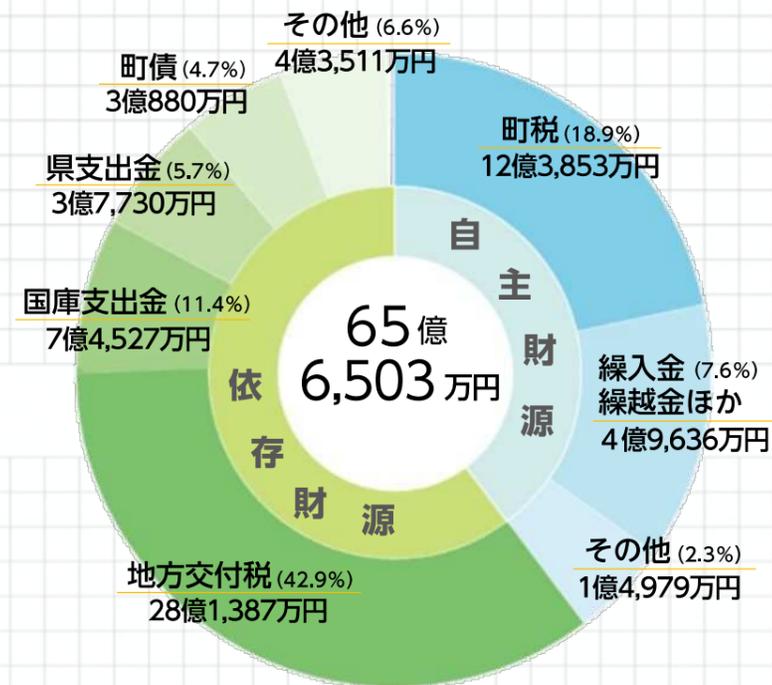
●用語解説

- 総務費・・・総務管理・戸籍管理・税務事務などの経費
- 教育費・・・学校教育や生涯学習の充実などの経費
- 公債費・・・過去に借りた町債の返済経費(元金の利子)
- 商工費・・・商工業や観光振興などの経費
- 消防費・・・消防や救急・消防団活動などの経費
- 民生費・・・高齢者・障がい者・児童福祉などの経費
- 衛生費・・・保健や健康づくり・ごみ処理などの経費
- 農林水産費・・・農業・林業振興などの経費
- 土木費・・・道路や河川・公園整備などの経費
- その他・・・議会費・労務費・災害復旧費を含む

一般会計 歳入

依存財源は、
歳入全体の約 **71.3** %
前年度から約 **9.4** 億円減少

自主財源は、
前年度から約 **8** 千万円増加



●用語解説

- 町税・・・町民税・固定資産税・軽自動車税など
- 繰越金・・・昨年度から繰り越したお金
- 国庫支出金・・・国が特定の事業に対して交付するお金
- 県支出金・・・県が特定の事業に対して交付するお金
- 地方交付税・・・国や県が徴収した税のうち市町村に分配されるお金
- 繰入金・・・基金から繰り入れるお金
- 町債・・・町が事業を行うために国や金融機関から借りるお金

●歳入について

令和3年度の一般会計決算の目的別分類は上のとおりです。自主財源の内、町税は減価償却による国有資産等所在市町村交付金の減少やコロナ禍特例による町民税減少が影響し、12億3,853万円【5,477万円減】で歳入全体の18.9%となりました。

一方依存財源の内、地方交付税は、新たな算定費目が創設されたことや年度末の再算定の影響で大きく伸び、28億1,387万円【2億5,403万円増】で42.9%となりました。

●歳出について

民生費は、12億4,753万円【8,736万円増】で21.5%の増額となりました。これは子育て世帯支援特別給付事業などがあったためです。同様に、衛生費は5億8,624万円【7,914万円増】で10.1%の増加となりましたが、これはコロナワクチン接種事業や水道料金免除事業が行われたことに影響しています。

●決算から分かること

町の決算は、予算に対して、実際の行政活動の結果を示したものです。上のグラフは令和3年度の一般会計決算の状況です。1年間に町に入ってきたお金「歳入」は、町税や地方交付税などに分類し、町が払ったお金「歳出」は、その目的別に分類しています。町が自由に使い道を決めることができる自主財源がどれくらいあったのか、またどのような事業にどれだけのお金を使ったのか確認することができます。

町政の運営は、町民の皆さんからいただいた税金によって成り立っているのです。皆さんにその使い道を公表する必要があります。本号では、「令和3年度決算」を見ながら、川根本町の財政状況をわかりやすく説明します。

